

# 長崎県県央保健所感染症発生動向調査速報

## (第51週週報)

### ★トピックス：インフルエンザに注意しましょう。

県央保健所管内では、47週からインフルエンザが警報レベルになっています。県央保健所管内は、「61.88」と長崎県の「56.69」よりも定点当たりの患者数が多い地区となっています。インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などの上気道炎症が起こり、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、大きな流行に備えてワクチンを接種しましょう。

### ★トピックス：水痘に注意しましょう。

県央保健所管内では水痘が注意報レベルとなっています。本疾患は、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症です。発熱、発疹を主症状とし、発疹は紅斑、水疱、膿疱を経て痂皮化します。空気感染、飛沫感染、接触感染により広まるため、咳エチケット、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して、症状のある場合は早めに医療機関を受診しましょう。

### ○定点把握疾患（県央保健所）※（—）は、報告なしです。

疾患名	前週 (50週)	今週 (51週)	備考	疾患名	前週 (50週)	今週 (51週)	備考
インフルエンザ	<u>67.88</u>	<u>61.88</u>	警報	ヘルパンギーナ	0.20	-	
新型コロナウイルス感染症	0.38	0.38		流行性耳下腺炎	-	-	
RSウイルス感染症	-	-		急性出血性結膜炎	-	-	
咽頭結膜熱	-	0.80		流行性角結膜炎	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.40	0.80		細菌性皰膜炎	1.00	-	
感染性胃腸炎	0.20	5.20		無菌性皰膜炎	-	-	
水痘	0.80	<u>1.00</u>	注意報	マイコプラズマ肺炎	-	1.00	
手足口病	0.20	0.40		クラミジア肺炎	-	-	
伝染性紅斑（リンゴ病）	<u>1.80</u>	<u>1.20</u>	警報	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	
突発性発しん	0.20	0.20		急性呼吸器感染症（ARI）	83.63	80.63	

### ○県央保健所管内の1～5類感染症の発生状況（結核を除く）51週

4類感染症：レジオネラ症 1件

5類感染症：梅毒 1件、侵襲性皰膜炎菌感染症 1件